



中国地方の梅雨入りも発表され、雨の日の多い季節を迎えました。寒暖の差が大きく湿度も高くなる季節を迎えました。蒸し暑い日も多くなることが予想されますので、引き続き児童の体調管理とともに保護者の皆様ご自身の体調管理にもご留意ください。

応急手当講習・水上安全法講習の研修をおこないました

プールでの体育学習や放課後水泳練習を始める前の、6月4日(月)午後1時50分から午後4時20分にかけて、救急救命方法及びプールでの水難事故防止のためのプール監視のポイント並びに水難救助についての職員研修を実施しました。

まず、湯梨浜消防署から3名の消防士さんにおいていただき、応急手当講習を受けました。倒れている人を見つけた際には、意識や呼吸を確認し、応援を呼ぶこと、心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの使用方法等についての講義を受けました。その後、3グループに分かれて、実際の場面を想定して人形を使いながら全員が訓練を受けました。可能な限り早期に救急救命を行うことの大切さを学び、必要かどうか迷った場合には、まずは心臓マッサージ等を開始することの必要性を再確認しました。

つぎに、日本赤十字社鳥取県支部から3名の講師の方においていただき、本校プールで水上安全法講習を受けました。指導と監視の職員の役割分担の大切さ、監視の方法のポイント、児童相互がお互いに気をつけることの大切さについて指導を受けました。その後、万一、事故が発生した際の一次救命処置の方法、二次事故の防止についての留意点等についての訓練を受けました。一次救命措置の方法については、より安全になるようにと、改訂が繰り返されていることも学びました。

毎年、今回の内容での研修を積み上げていくことで、より安全なプールでの体育学習や放課後水泳練習をめざしていきたいと考えています。

